

●公正な医療事故調査制度の実現を求める 院内集会にご参加ください！●

公正な医療事故調査制度の実現を求める院内集会

【日 時】 平成26年4月8日（火） 12:00～13:30

【場 所】 参議院議員会館101会議室 千代田区 永田町2-1-1

東京メトロ永田町駅より徒歩1分

【基調発言】 行政の立場から 大坪 寛子（厚生労働省医政局総務課医療安全推進室長）
調査の立場から 木村 壮介（日本医療安全調査機構中央事務局長）
患者の立場から 永井 裕之（患者の視点で医療安全を考える連絡協議会代表）

【会場発言】 各党国会議員 他

【コーディネーター】 大熊由紀子（国際医療福祉大学大学院教授）

- 私たち、患者の視点で医療安全を考える連絡協議会（患医連）は「医療版事故調査機関の早期設立」を願って、活動を続けてきました。
- 今国会で医療法の改正により、医療事故調査第三者機関の創設を含む医療事故調査制度の法制化が予定されており、私たちは大きな第一歩であると期待しております。
- ◎ 法制化が予定されている医療事故調査制度に対し私たちが評価している点、いまだ疑問を抱えている点をお伝えし、国会で十分な審議が行われ、公正性などが保証された医療事故の原因究明・再発防止を行い、日本の医療の安全と質の向上に資する医療事故調査制度が実現するよう、上記のとおり院内集会を開催します。
- 公正な事故調を継続して推進するためには今後検討すべき点があります。例えば、医療機関が第三者機関に対し医療事故の届出を行わなかった事案につき遺族が第三者機関に医療事故調査を求めた場合の取扱いは？ 第三者機関に医療事故調査を求める場合の費用負担は申請者たる遺族が負担するのか？ 第三機関が継続できるための財源確保は？・・・。私たちは、このような疑問につき法律の制定過程において国会で十分に審議していただきたいと訴えるべく院内集会を実施いたします。
- ◎ 多数の方々に、院内集会への参加と、公正な医療事故調査制度の実現に向けご支援・ご協力をお願いいたします。

主 催： 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会

<http://kan-iren.txt-nifty.com/top/>

医療版事故調推進フォーラム

<http://www.ijc-forum.com/>

連絡先： 患者の視点で医療安全を考える連絡協議会 代表 永井裕之

mail: kan-iren-info@yahoogroups.jp

FAX: 047-380-9806